

14-03-31

2014 年度 設備投資計画

～鉄道事業を中心に総額 11,491 百万円～

＜主な投資項目＞

- ① 旅客安全・運転保安工事の推進・継続
- ② バリアフリー化(4 駅)などの駅施設改良

名古屋鉄道では、「名鉄グループ中期経営計画 ～PLAN120～」(2012 年度～2014 年度)に基づき、同計画の重点テーマである「グループの核である交通事業の強化」などの実現に向け、最終年度となる 2014 年度の設備投資計画をまとめました。

来年度の主な投資として、例年に引き続き、ATS(自動列車停止装置)などの安全設備の新設や更新、車両・土木・電気施設の改良、高架化の推進など、安全対策の更なる充実を図る投資を積極的に推進していきます。

加えて、バリアフリー化を 4 駅(扶桑駅、阿久比駅、味岡駅、豊田本町駅)で実施します。

来年度の設備投資額は、鉄道事業においては、電力管理システムの更新(2015 年度運用開始)や保線作業車両・電気機関車の更新など旅客安全・運転保安に関わる投資を積極的に推進するものの前年比微減、開発事業においては、「金山プラザ」のリニューアルを行うなど、昨年的大幅減からの反動で前年比増加、全体では今年度比プラス 1.0%程度の 11,491 百万円となります。

事業別設備投資計画額の対前年比較は以下のとおりです。

＜事業別設備投資計画額内訳＞

(金額単位 百万円、税抜き、単位未満切捨て)

事業	2014 年度	2013 年度	前年との差額	増減率	(参考)2012 年度
鉄道事業	8,519	9,000	▲480	▲5.3%	9,499
開発事業	2,725	1,766	960	54.2%	4,008
その他	246	609	▲363	▲59.6%	330
総額	11,491	11,376	114	1.0%	13,838

鉄道事業 [8, 519 百万円]

鉄道事業では、①保線作業車両・電気機関車の更新、踏切保安設備や土木・電気設備の改良など旅客安全・運転保安工事に 7,425 百万円、②駅改良など、サービス改善工事に 1,094 百万円の計 8,519 百万円を投資します。

1 旅客安全・運転保安工事 (7,425 百万円)

(1) 安全・保安対策

- 分岐用の ATS(自動列車停止装置)を三河線・尾西線・小牧線などの 34 駅に設置します。また、ホーム転落対策として、列車の乗務員に異常を知らせる列車非常通報装置を浄水駅に設置します。

(2) 列車在線表示システムの導入

- 2013 年度より順次導入を進めております、GPSシステムを利用した、列車の在線位置・列車番号・組成車両番号・両数等を運転指令室及び主要駅で可視化する列車在線表示システム*の導入を進めます。(2014 年度完了予定)

*列車の車載機からの情報を取得し、指令操作端末、在線表示モニタなどで走行位置を閲覧することができるもので、本システムの導入により、ダイヤ混乱時の列車情報収集や列車順序変更作業の効率化などが可能となります。

(3) 耐震補強の推進

- 大規模地震による被害を最小限に抑えるため、高架橋柱などの耐震補強を堀田高架橋、津島高架橋、豊田本町高架橋及び朝倉高架橋などで行います。



高架橋柱耐震補強 ※イメージ

(4) 踏切道保安設備の新設・改良

- 踏切道の保安対策として、踏切障害物検知装置の設置(1 カ所)、踏切道の非常ボタンの設置(29 カ所)及び閃光灯の増設(2 カ所)などを行います。

(5) 車両の改良

- 運転士が運転操作不能になった場合に列車を自動的に停止させる運転士異常時列車停止装置を 6 両に設置します。
- 運転状況を記録する運転状況記録装置を 6 両に設置します。
- ホームから車両連結部への転落防止を図るため、固定連結部の車体側面に連結面転落防止幌を 35 連結面に設置します。
- 三河線で運行している 6000 系ワンマン車両の大規模修繕を 3 編成で実施し、バリアフリー適合化・客室環境改善・車両延命化を図ります。

(6) 土木施設の改良

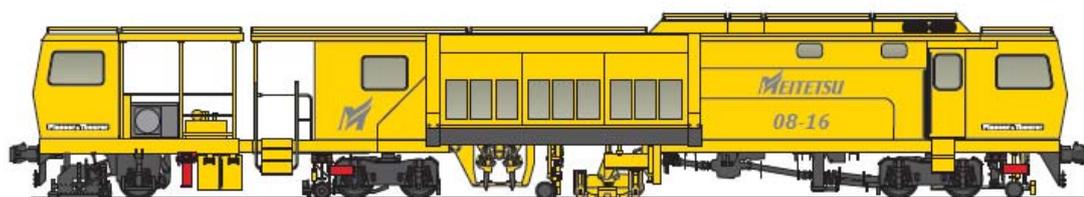
- 列車の乗り心地を向上するため、まくらぎの PC 化(瀬戸線・西尾線の延べ約 4.0km)及び分岐器の弾性化(美合駅 2 基)を実施します。
- 列車走行音や振動を軽減するため、ロングレール化工事を名古屋本線 富士松駅～一ツ木駅間の延べ約 0.7km、犬山線 上小田井駅～西春駅間の延べ約 0.4 km でそれぞれ実施します。

(7) 電気施設の改良

- 異常時対応力の強化を目的として、電力管理システムを更新します。(2015 年度竣工予定)
- 安定した電力供給を図るため、沿線各所で高圧遮断器など電力設備の更新、き電線の増強・改良などを実施します。
- 保安度の向上を図るため、転てつ器と信号機の動作を制御する連動装置や列車無線基地局の更新を実施します。

(8) 保線作業車両・電気機関車の更新

- 老朽化に伴い、線路の歪みを直すために使用する保線作業車両(マルチプルタイタンパー)と、レール運搬などに使用する電気機関車(2 両)を更新します。



保線作業車両(マルチプルタイタンパー)※イメージ

(9) 高架化

- 安全対策の推進と都市計画事業の一環として、3カ所で高架化工事を実施します。

	路線名	区間	距離
知立駅付近 高架化工事	名古屋本線	一ツ木駅～牛田駅間	1.6km
	三河線	重原駅～三河八橋駅間	2.7km
喜多山駅付近 高架化工事	瀬戸線	小幡駅～大森・金城学院前駅間	1.9km
布袋駅付近 高架化工事	犬山線	石仏駅～江南駅間	1.8km

2 サービス改善工事(1,094 百万円)

(1) 主な駅改良工事

犬山線・扶桑駅改良工事

- 扶桑駅(丹羽郡扶桑町大字高雄字下山 91 番地)にエレベーター4 基や多目的トイレを設置し、バリアフリー化を行います。

河和線・阿久比駅改良工事

- 阿久比駅(知多郡阿久比町大字阿久比字駅前1 丁目 13 番地)にエレベーター3 基や多目的トイレを設置し、バリアフリー化を行います。

そのほか小牧線・味岡駅(小牧市大字岩崎 143 番地)及び常滑線・豊田本町駅(名古屋市南区豊一丁目 26 番 17 号)の駅改良工事や、駅舎老朽化に伴う三河線・高浜港駅(高浜市青木町六丁目 3 番地 1)の駅舎建て替えなどを行います。

(2) 自動改札機の IC カード対応化

- お客さまの利便性向上のため、栄町駅、東岡崎駅、岩倉駅、西春駅、国府宮駅の IC カード非対応の自動改札機(7 台)で、manaca など IC カードをご利用いただけるよう改良します。

(3) 旅客案内設備更新

- 上小田井駅の行先案内表示器、放送装置などの更新を行います。

開発事業 [2, 725 百万円]

- 金山プラザ(金山駅:名古屋市熱田区金山)の活性化を図るため、東棟 2 階・3 階、西棟 2 階・3 階、ホーム階(1 階)の各商業スペース及び鉄道施設の共用部におけるリニューアルを実施します。
- また、昨年に引き続き既存賃貸物件(沿線の商業施設、テナントビルなど)の改修や設備更新を進めます。

その他 [246 百万円]

- IT機器・システム更新などを図ります。

※ 名古屋鉄道を含む 2014 年度の名鉄グループ設備投資計画額は、39,700 百万円。
(2013 年度同計画額 32,844 百万円 前年との差額+6,856 百万円 増減率+20.9%)

以 上